

## ■ 第5章 計画指標の予測



## 1. 他計画の将来人口値について

当町の将来人口推計値としては、「第5期美幌町総合計画」と「日本の市区町村将来推計人口」による将来推計人口がありますが、これらの推計人口と本推計人口は推計の基準人口が異なるため、同一年における推計値には多少の差が発生するものとなっています。

### ○第5期美幌町総合計画（平成18年4月 美幌町策定）

昭和60年～平成12年（1985～2000）の国勢調査人口を基本人口としてコーホート変化率法によって、平成27年（2015）で19,675人と推計し、この推計値を参考として当計画では平成27年（2015）の想定人口を21,000人としています。

### ○日本の市区町村別将来推計人口（平成20年12月推計 国立社会保障・人口問題研究所）

平成12年（2000）の国勢調査における市区町村別、男女・年齢（5歳階級）別人口（総人口）を基準人口としてコーホート要因法によって、推計期間（平成17（2005）～平成47（2035）年まで5年ごとの30年間）の当町の総人口を推計しており、当報告書では平成27年（2015）の推計人口を20,650人としています。

## 2. 将来人口の予測

### （1）区域別将来人口の予測

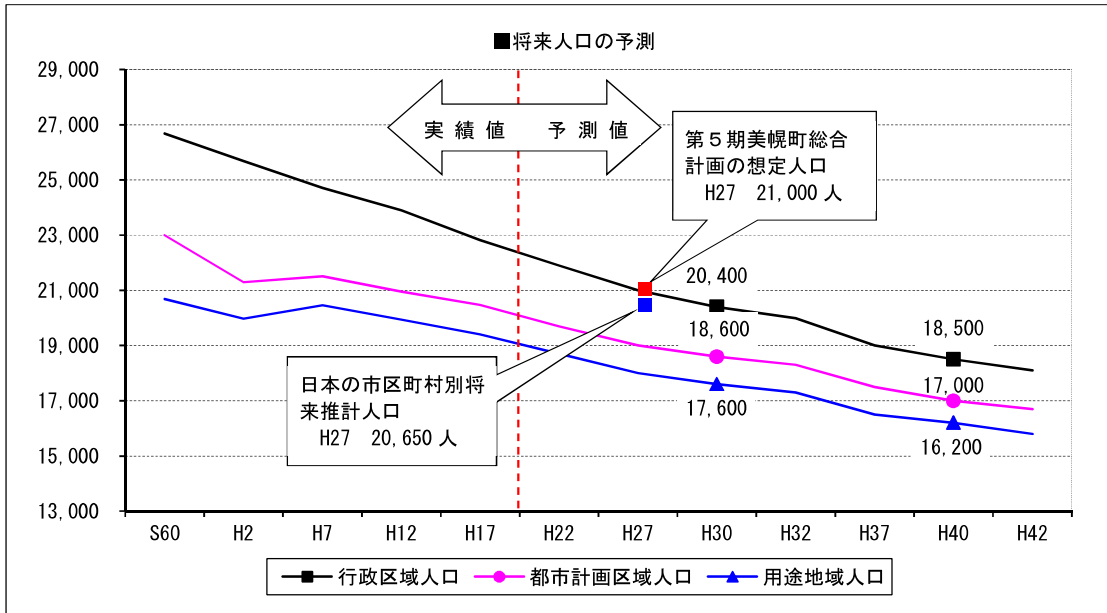
昭和60年以降の国勢調査データを用いて最小二乗法及びコーホート要因法の推計を行った結果、我が国が人口減少社会に転じた社会情勢を踏まえた場合、当町においても今後人口減少傾向が継続していくものと推察されることから、「第5期美幌町総合計画」の既存想定値（H27：21,000人）との整合性が確保され、「日本の市区町村別将来推計人口」の推計人口（H27：20,650人）とも大きな差はないため、最小二乗法による推計値を採用し、行政区域人口は平成30年で20,400人、平成40年で18,500人と想定します。

また、都市計画区域区域及び用途地域内の人口については、行政区域人口の推計値を基本とした都市計画区域及び用途地域への人口集中率をロジスティック推計によって推計し、都市計画区域人口は平成30年で18,600人、平成40年で17,000人と想定し、用途地域人口は平成30年で17,600人、平成40年で16,200人と想定します。

## ■第5章 計画指標の予測

### ■将来人口の予測

区分	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	平成30年	平成32年	平成37年	平成40年	平成42年
行政区域人口	26,686	25,680	24,716	23,905	22,819	21,900	21,000	20,400	20,000	19,000	18,500	18,100
都市計画区域人口	23,000	21,300	21,504	20,958	20,475	19,700	19,000	18,600	18,300	17,500	17,000	16,700
用途地域人口	20,684	19,969	20,458	19,938	19,404	18,700	18,000	17,600	17,300	16,500	16,200	15,800



### (2) 年齢階級別人口の予測

想定した行政区域人口を基本とし、コーホート要因法で推計された年齢階級別推計人口における人口比率から年齢階級別人口を想定した結果は、次に示すとおりで今後さらに少子高齢化が進展することが予測されます。

#### ■年齢階級別人口の予測

(単位：人、%)

区分	平成17年		平成30年		平成40年	
	人口	構成比	人口	構成比	人口	構成比
幼年人口 (15歳未満)	3,031	13.3	1,934	9.5	1,585	8.6
生産年齢人口 (15～64歳)	14,289	62.6	11,624	57.0	9,908	53.6
高齢人口 (65歳以上)	5,499	24.1	6,842	33.5	7,007	37.9
後期高齢者人口 (75歳以上)	2,424	10.6	3,616	17.7	4,346	23.5
合計	22,819	100.0	20,400	100.0	18,500	100.0

※平成17年の人口は国勢調査人口

